

こころ通信

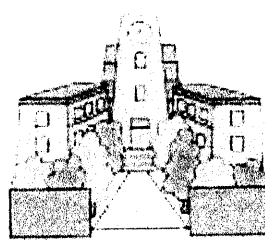
第94号
2103年1月号
発行
(有)中村薬局
編集責任者
金巻 裕

最後の授業

私は経済学部でマク

今年も残すところあとわずか。皆さんにとつて今年はどうな一年でしたか？私は公私ともに様々な壁にぶち当たり、解決すべき課題が明確になつた年だったと感じています。来年はその課題をひとつひとつクリアして前進していきます。この時期に改めて一年を振り返り来年に向けてスタートの準備をしましょう。

12月17日(月)に私は卒業して以来初めて、母校である法政大学に出向きました。学を学んでいました。ゼミでお世話になつた教授が定年退職されるといふことで、ゼミ生OBにも教授の最終講義を聴講しました。せんかという案内を頂いたのです。大学の粋な計らいです。25年振りを訪れたキャンパスはとてきれいで広大で、当時から思い出され、なかなか胸が熱くなり、だか胸が熱くなり、ました。法政大学は東京の市ヶ谷にキャンパスがあり、ますが、経済学部と社会学部が私の入学した年から新設の多摩キャンパスに移転してきてたのです。私は、八王子市と町田市にまたがる新多摩キャンパスの1期生。入学時、経済学部は校舎が未完成で



半年くらいは社会学部と同居。学内はまだ工事中だらけ。当然のことながら先輩はいますべて自分たちがつくる、など今思い出すとかなり貴重な経験をしたのかもしれません。2年生からはゼミに所属します。ゼミとは特定のテーマのもとに教授が学生を募集し、少数で学ぶ授業。通常の講義とは異なり、学生が発言したり、討論や発表もする参加型の授業とも言えます。ですから担当教授や仲間とのゼミ生とは深い付き合いとなり生涯の仲間となるわけです。入学時から大学の未完成的な状態をなんとなく不満に感じていたのも正直なところ。しかしこのゼミに所属して大学生活はとて充実したものにになりました。そこでお世話になつた教授の最終講義というところで、つけられたわけです。201教室は扇型に広がる大教室。現役の学生に多くのOBが加わり満席です。そして教授が教壇に登場しました。教壇での姿は当時のまま。声の調子も全然変わっていません。その姿に感動です。買ったばかりで使わない方がよくわからないスマートフォンで何度の写真も撮りました。携帯電話なんて学生の頃にはありませんでした。時代は変化し時流れているんだなと思いつつ、何度かシャッターを押しました。その日の講義のテーマは「イノベーションのみなもと」で

した。企業における技術革新とそこに関わる労働力に与える内容でした。がとて興味深く勉強になりました。学生の頃は半分以上は退屈であまり熱心に聴講していませんでした。私ですが、社会に出て長い時間働いた経験を踏まえて聴く講義は、とても受け入れやすく自らの仕事に考へることができて本当に楽しい時間でした。あつと言つた90分。学生の頃は90分がとて長く感じたものです。講義終了後は歓迎会にも出席。70歳まで勤め上げ、金屏風の前であいさつする姿はとてもかっこよかったです。この先生に出会っていただければ大学生活はまた別のものになり、今の自分ではなかったかもしれません。そう思うと教授との出会いに心から感謝感謝です。大切な方の大きな節目の機会に同席させていただいたこと

とをとて幸せに思いました。久しぶりに大学を訪れ講義を受け、学ぶことの大切さを痛感するとともに、学生時代にもつと勉強しておけばよかったと反省と後悔。そして4年間、大学に通わせてくれた両親に心から感謝です。こうしてこころ通信を書いている今日は父の5回目の命日。天国の父、東京で一人暮らし母に感謝です。合掌

よき師よき友 つどひ結び
法政 わが母校
法政 わが母校
法政 わが母校
法政 わが母校



法政大学校歌
より抜粋

ナカムラ薬局
都留市中央1-5-12
43-1177

◆編集後記◆
今年も一年間当店のご利用ならびにこころ通信のご愛読ありがとうございました。今回より、紙面サイズの変更をさせていただきます。料金を後納印の挿入、また封入時間の削減を理由とするものです。どうかご了承くださいます。お気づきの点や感想などございましたらお気軽にお声かけください。来年が皆様にとってより佳き年になることを祈り申し上げます。裕

料金後納
ゆうメール